

福岡県民スポーツ大会における熱中症対策ガイドライン

福岡県民スポーツ大会は、福岡県内から多くの選手や関係者、観客が集う県内最大級のスポーツの祭典です。すべての人々が安全に競技やイベントを楽しみ、選手がもてる力を最大限に発揮できる環境を提供し、選手、スタッフ、観客の皆様が安心して参加できる大会運営を実現することが求められています。

特に、近年の気候変動に伴い気温の上昇が顕著となっている中、熱中症は命に関わる重大なリスクとなっています。

このガイドラインは、暑熱環境下における熱中症の予防から対応までの具体的な指針を提供し、全員が一体となって大会を成功させることはもとより、熱中症対策を通じて、持続可能な健康管理や環境対応への意識を高め、未来に向けた安全で持続可能なスポーツ文化の実現を目指します。

1 大会・式典開催前の対策

(1) 体温上昇防止のための環境整備

暑熱環境の緩和を図るには、人が長時間滞留する状況を避けること、炎天下での待機を防ぐこと、そして風通しの悪い広場での休憩を避けることが重要です。具体的には、屋根付きの休憩スペースや、利用可能であれば空調設備の整った屋内施設を準備します。

(2) 水分等補給体制の確保

選手、演者、審判員、観戦者、観覧者、運営スタッフ等（以下、「参加者」という。）が、水・スポーツドリンクを飲める環境を整え、競技時間中に定期的な飲水タイムを設けることとします。

(3) 救護体制の確保

熱中症発生時に迅速かつ適切な対応ができる体制を構築するとともに、近隣の救急病院を把握します。

(4) 熱中症予防に関する知識等の周知、啓発

参加者に対して、本ガイドラインの内容を踏まえ、熱中症予防の知識や対策等の周知・啓発を図ります。

(5) 参加者等自身の体調管理

- ・ 熱中症警戒アラートや予防方法など熱中症に関する情報を確認し、暑熱順化や個人としての対策(飲料や冷却手段、帽子や服装等)を準備することを周知します。
- ・ 体調管理(睡眠や食事、暑熱順化を含む)の徹底とともに、大会参加 1 週間程度前から毎日の体調チェックに努めることを周知します。
- ・ 日頃から「熱中症警戒アラート」を見る習慣をつけるよう周知します。

2 大会・式典開催期間中の対策

(1) 屋内・屋外活動時の対策

- ・ 空調設備がある屋内での活動については、エアコンを適切に活用します。
- ・ 空調設備がない場合における屋内での活動については、競技運営に支障のない範囲で、窓・扉を開け、十分な換気を行い、気流を積極的に設けるよう努めます。
- ・ 屋外活動については、直射日光を避けられるようテントによる日陰スペースを設けたり、高温時間帯の活動を避け、スケジュールを調整したりするなどの工夫を行います。
- ・ 開会式および競技中において、参加者に熱中症を予防するための注意喚起を行います。

(2) 参加者等自身の体調管理

- ・ 毎日の体調チェック(体温や特記事項を記録)の実施に努め、体調の状態や当日の気象予報等を踏まえ、熱中症のリスクが高いと判断される場合は、適切な対策と準備を行います。
- ・ 当日の気象予報等に関係なく、活動中に熱けいれんや熱疲労の症状(頭痛、めまい、吐き気、嘔吐、脱力感、倦怠感など)を自覚した際には、運営スタッフなど近くの人に症状を伝えます。
- ・ 周りの人に熱けいれんや熱疲労の症状が見られたり、訴えがあったりした場合には、救護所に連絡し、水分補給や応急救護などの必要な対応を求めます。